

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	堺市教育委員会 中央図書館			代表者名	南 健次
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	総務課	連絡先電話番号	072-244-3811
担当者役職	管理係	担当者氏名	深澤 泰宏	連絡先E-mail	
住所	590-0801 大阪府堺市堺区大仙中町18-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	市内図書館のデジタルサイネージ導入		
概要	市立図書館でのデジタルサイネージ機器導入に伴い、デジタルサイネージ機器の有効活用方法や職員のデジタルリテラシーを向上させ、地域住民に対し有益な情報提供をおこなうための研修を実施したい。				
支援を求める分野	人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 教育情報化/情報教育 デジタルアーカイブ/図書館				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年1月23日	フォローアップ(実地)	15時00分	16時30分	
				活動時間（分）	90
2-2. 派遣場所	会場名	堺市立中央図書館	最寄駅	百舌鳥駅	
	所在地	堺市堺区大仙中町18-1	最寄駅からの交通手段	徒歩	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。



アドバイザー	栗津 千草
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	研修後、デジタルサイネージでの発信を全館で行うことができている現状の確認ができたこと。 また今後の課題として、下記を洗い出すことができたため。 ・「何を」発信し伝えるかを職員一人ひとりが考えられるようにすること ・デジタルサイネージの活用について、アイデア出しを行うこと ・多様な掲載依頼が想定される中で、掲載基準・判断を行えるようにすること
アドバイザーへの要望事項	今回の研修でデジタルサイネージ活用の一歩を踏み出すことができ、目標であった「全館が発信する」を達成できた。 次年度以降は職員が作成したものだけでなく、地元企業の広告を掲載するなど、新たな運用を行っていただくため、引き続きフォローいただきたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	1人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	1	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	令和7年11月、市立図書館7館にデジタルサイネージ機器を導入し、静止画による多様な情報発信と動画の放映を予定しています。 地域住民の方にさらに親しみやすく・わかりやすい情報発信を幅広くおこなえるよう、職員のデジタルリテラシーの向上と、デジタル機器の効果的な活用をするため、職員が特性を理解し、有効に情報を発信できるスキルとともに、発信時の注意点を学ぶことが求められています。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	デジタルサイネージを通じて住民に対して、市立図書館のより豊かな情報提供をおこなうことから始め、ステップバイステップで地域の情報ハブとしての役割も担えるよう運用を進めていく計画です。 これにより、地域住民のコミュニティの場としての図書館をさらに活用いただき、つながりがうまれ、興味や学びの場が拡充される場所になることを目指します。 そのために、まずは令和7年12月末までに、運用する職員がデジタルリテラシーを身につけ、導入直後の運用と、定期的な更新をおこなえるようにします。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	デジタルサイネージでのお知らせ配信の基本ポイントについて講義を受けたことで、全館が発信できるようになりました。発信することはスタートであり、ゴールではないため、目指すべき姿を改めて確認するとともに、ゴールに向けて職員にどのようなスキルが必要かなど、依頼を受けたものについて掲載していくという次のステップに向けての課題確認を行うことができました。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	職員のリテラシー向上を継続的に啓発していくために、どのような方法が良いのか、対面研修および職員同士の意見交換の方法について確認することができました。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	<input checked="" type="checkbox"/> ②事業に係るシステムを構築できた デジタルサイネージの導入及び、全館において職員が発信を始めることができ、定期的な更新を行えるようになりました。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特にありません	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>【分析】</p> <p>1. 回答者の共通点と全体評価</p> <p>- ⑥(本日の講座内容の評価)：すべての回答者が「役立つ内容だった」と評価しています。これにより、この講座が今後のデジタルサイネージ活用において効果的な知識を提供できたことが伺えます。</p> <p>2. 講座に関連するクイズについて</p> <p>- ①～⑤の設問(知識や配慮への意識)</p> <p>- 全ての質問において正しい回答が統一されており、次のような共通認識が育まれたと考えられます：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「写真の使用時には本人の同意が必要」 2. 「イラストの使用には出典だけでなく利用条件の確認も重要」 3. 「高齢者や視覚障害者への配慮」(例：文字サイズ・色のコントラストへの注意) 4. 「QRコード掲載時はリンク先の正確性を確認する」 5. 「地図使用時には著作権の確認が必要」 <p>回答内容全体から、講座内容を的確に理解していることが推察されます。</p> <p>- 学びの深さ(⑦の理由)</p> <p>- 多くの回答に、「デザイン」「事例」「実際のケース」「具体的な活用方法」が挙げられています。単なる知識提供ではなく、実践的な内容だったことが評価ポイントとなっています。</p> <p>3. 今後の要望(⑧の自由回答)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 【事例ベースの学び】 <ul style="list-style-type: none"> - 「成功事例の分析」や「実際のケースを元にした進行」に関する興味を持つ回答がありました。 - 具体的な成功ノウハウを深掘りするような内容への期待もありました。 2. 【デザイン関連】 <ul style="list-style-type: none"> - サイネージや住民向けチラシに適した「デザイン」に対する需要があります。「デザイン面で学びが多かった」や「サイネージに適したデザイン」といったキーワードが挙げられました。 3. 【生成AIやAI活用の要望】 <ul style="list-style-type: none"> - 「住民向けチラシ等の生成AIの活用」「AI関連技術の具体的な応用範囲」に興味を持つ傾向が 	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	<input checked="" type="checkbox"/> ①予算は確保済みであり、年度内に推進する 令和8年度は地域企業の広告出稿を受け付けるなど、新たな活用を行っていく予定です。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	令和7年12月末までに、導入直後の運用と、定期的な更新を実施、そのあと段階的に発信の幅を広げ、地域住民の皆さまに役立つ情報を、デジタルの利便性を活用して届けられるよう、運用ルールなどを策定していきます。	
5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可 掲載許可 <input type="checkbox"/> ○掲載可		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
<p>なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</p>		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子 今回の派遣における 地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」 を数枚程度貼り付けて下さい。		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		